

豊かな海と島づくり

—里海を守り育てる人と法—

趣 旨

ここ数年来、瀬戸内海研究会議は、瀬戸内海で豊かな「里海」を実現するために、生物多様性と水産資源の回復や流域の総合的管理を軸にした新たな再生方策について、包括的な論議と提言を行ってきました。

「里海」(人の手を加えることによって生物生産性と生物多様性を高く維持する沿岸海域)を実現するためには、第1に、「太く・長く・滑らかな物質循環」を瀬戸内海で実現しなければなりません。そのためには、第2に、山に発し海に到る流域全体の環境管理を一体的に行う必要があります。そして、第3に、住民・漁民、事業者、地方自治体及び国が、それぞれの立場で自己の役割を果たしていくことが必要です。これらの作業において、法制度が重要な役割を演じます。

このような観点から、今回のフォーラムは、第1セッションで生物環境と水産資源について、自然科学研究と香川県の特徴的な実践活動を紹介し論じます。第3セッションでは、良好な環境を保全・継承する上で重要な瀬戸内海の島々で、住民がどのようにその環境を生かし地域の文化を継承・発展させようとしているかを紹介し論じます。第4セッションは、里海を守り育てる人々の営為を推進し統合するために必要な法のあり方を、外国や国内の他地域の例を参考にして探究し、瀬戸内法の役割の見直しを論じ、そのあとに、第1、第3及び第4セッションを総合した討論を行って、里海の今後の展望を求め、里海を守り育てるために、どのような法令の運用、改正又は制定が必要とされているかを探るため、議論をしたいと考えております。

また、第2セッションにおいては、ポスター発表の形式で、広く環境保全・創造に関する研究や活動を発表する機会を設けております。多数のご参加をお待ちしています。

日 時 平成19年**9月6日(木)** 13:00~18:15
9月7日(金) 9:30~16:30

会 場 サンポートホール高松

フォーラム：**第1小ホール**(4階)

懇親会：**第2小ホール**(5階)

香川県高松市サンポート2番1号
TEL 087-825-5000

参加料 ○フォーラム：**無料** 資料代：**1,000円**
(参加人数：150名程度)

○懇親会：**4,000円**

(資料代・懇親会参加料につきましては、当日フォーラム会場で申し受けます。)



義経が立った舞台が、きらめくところ。

参加申込方法

8月27日(月)までに、氏名・所属・住所・電話番号を明記の上、Eメール・FAX・郵送にて、下記の宛先までお申し込み下さい。

(お申込・お問い合わせ先)

瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1

国際健康開発センター3階

(社)瀬戸内海環境保全協会内

TEL 078-241-7720 FAX 078-241-7730

Eメール:web@seto.or.jp

会場案内図



アクセス ・JR高松駅から徒歩3分 ・ことん築港駅から徒歩5分 ・高松港から徒歩2分
・高松空港から高松空港リムジンバス高松駅行き乗車40分

主 催：瀬戸内海研究会議、香川県
協 賛：瀬戸内海環境保全知事・市長会議、社団法人瀬戸内海環境保全協会
後 援：環境省、高松市、香川大学、財団法人福武学術文化振興財団
財団法人かがわ産業支援財団

(以上予定)

詳しくは裏面をご覧ください。

9月6日 (木) 13:00~18:15

開会 13:00~13:30

第1セッション 13:30~15:30

生物環境と水産資源

座長：多田 邦尚 (香川大学農学部教授)

☆赤潮の歴史と現状

吉松 定昭 (香川県水産試験場次長・赤潮研究所長)

☆サワラー資源回復の成功例

竹森 弘征 (香川県水産課漁業振興グループ副主幹)

☆地域ブランドを創る - タケノコメバル

栩野 元秀 (香川県水産試験場主席研究員)

☆生物環境としての浅海域

山本 民次 (広島大学大学院生物圏科学研究科教授)

第2セッション 15:45~18:15

環境保全・創造に関する研究・活動報告

司会・進行：一見 和彦 (香川大学農学部准教授)

ポスター発表：ハイブリッド方式
(ポスターは2日間、展示場で常時展示)

瀬戸内海研究会議総会 17:30~18:15

懇親会 18:30~20:00

(第2小ホール 参加料：4,000円)

9月7日 (金) 9:30~16:30

第3セッション 9:30~11:30

島の現状を見つめ、未来の発展をはかる

座長：岡市 友利 (香川大学名誉教授)

☆日本の原風景としての瀬戸内海の島々

多田 垂佐美 (フリーカメラマン)

☆現代アートによる島おこし

笠原 良二 (㈱ベネッセコーポレーション直島事業部長)

☆花彩島を取り戻すために

井原 縁 (奈良県立大学専任講師)

☆瀬戸内海の島嶼部の発展に向けて

戸田 常一 (広島大学大学院社会科学研究科教授)

第4セッション 13:00~15:00

瀬戸内海的环境・資源の管理と瀬戸内法

座長：中山 充 (香川大学大学院連合法務研究科教授)

☆「里海」と住民・漁民の権利

中山 充 (香川大学大学院連合法務研究科教授)

☆瀬戸内法の見直し

荏原 明則 (関西学院大学大学院司法研究科教授)

☆東京湾、伊勢湾、三河湾及び琵琶湖の環境と法的対応

廣瀬 肇 (呉大学社会情報学部教授)

☆外国の閉鎖性水域の環境・資源管理法制との比較

横山 信二 (香川大学大学院連合法務研究科(愛媛大学)教授)

総合討論 15:10~16:00

豊かな里海の実現を目指して

座長：中山 充 (香川大学大学院連合法務研究科教授)

☆パネリスト：

岡市 友利 (瀬戸内海研究会議顧問、香川大学名誉教授)

多田 邦尚 (香川大学農学部教授)

廣瀬 肇 (呉大学社会情報学部教授)

横山 信二 (香川大学大学院連合法務研究科(愛媛大学)教授)

☆コメンテーター：

松田 治 (瀬戸内海研究会議会長、広島大学名誉教授)

柳 哲雄 (瀬戸内海研究会議副会長、九州大学応用力学研究所教授)

ポスター賞発表・閉会 16:00~16:30

瀬戸内海研究フォーラム in 香川

参加申込書

氏名

所属

住所

TEL

フォーラム 参加 (研究会議会員・一般)

懇親会 参加・不参加

当該箇所に○印をお付け下さい。

ご提出いただいた個人情報は本事業の目的以外には利用しません。